

『挨拶』は相手を敬う行為です。

新年の挨拶、「あけまして、おめでとうございます」。

新年の挨拶は、新たな年を迎えた祝福の気持ちと、今年一年の健康や幸せを願う深い意味が込められています。

そのために、われわれは、お互いに挨拶を交わしています。

また、挨拶は新年の挨拶だけではなく、日々の生活の中にもあります。

そして、何気なくかわされている挨拶にも、いろいろな意味が込められています。

例えば、「おはよう」には・・・

「お早くお起きになられまして、今日もご健康で、おめでとうございます」という意味が込められているのだそうです。

短い言葉の中にも、相手を敬い、祝福する気持ちが込められています。

だから、挨拶をするとお互いにうれしくなるという効果があるのです。

わずか数秒で終わってしまう挨拶ですが、とても大切な役割があります。

学校の中でも、元気のよい挨拶を交わしていきましょう。

忘れてはならない教訓があります。



完全に倒壊した高速道路

「文春オンラインより引用」

平成7年（1995年）1月17日5時46分淡路島北部沖の明石海峡を震源としてM7.3の阪神淡路大震災が起きました。

「近畿地方では大きな地震は起こらない」と言われてきたにもかかわらず、巨大地震が起こったのです。

そして、この大地震発生17年後、平成23年（2011年）3月11日

14時46分、宮城県牡鹿半島沖を震源とするM9の東日本大震災が起きました。

台風、地震等自然災害に備えておくことはとても大切なことです。

防災・減災の知識を活用しながら、誰もがこれから遭遇するかもしれない自然災害に対応する準備はしておかなければならないと思います。

特に、南海トラフ地震は、1854年安政東海地震・南海地震 その147年後に起こった1944年昭和東南海地震、1946年昭和南海地震が起こっており、それからもう76年がたっています。いつ南海トラフ地震が起こっても不思議ではない時期に入っているのです。内閣府防災情報等をこまめにチェックし、ご家族で地震への対応を話し合ってみてください。